

令和2年 第2回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

令和2年 第2回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和2年2月14日（金） 13：40～15：30

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

西田教育長、今門代表教育委員、畠山委員、江草委員、柳田委員

【事務局】

河野教育局長

（企画総務課）川辺課長、富田補佐、竹下係長、

堀指導主事、鬼束主任主事、黒田主任主事、三角主事

（学校施設課）野口課長、年増補佐

（学校教育課）押川課長、串間補佐

（教育情報研修センター）和田所長

（生涯学習課）黒岩課長、中村補佐

（保健給食課）中野課長、松崎補佐

（文化財課） 富永課長、川崎補佐

4 議 案

番号	件名	説明者
議案第2号	令和2年度一般会計予算案の原案について	教育局長 各課長
議案第3号	令和元年度一般会計補正予算案の原案について	教育局長 各課長
議案第4号	宮崎市公民館条例の一部改正の原案について	地域コミュニティ課長

5 報 告

番号	件名	説明者
報告第2号	令和元年度第3回宮崎市コミュニティ・スクール推進委員会の報告について	企画総務課長
報告第3号	令和元年度宮崎市特別支援教育就学相談委員会（答申及びまとめ）の報告について	学校教育課長
報告第4号	その他の事案の報告について	学校教育課長
報告第5号	事故等の報告について	学校教育課長

西田教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただ今から、第2回教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>本日の傍聴者はありません。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、柳田教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	<p>会次第「3 行事報告等」に入ります。1 ページをお開きください。</p> <p>「(1) 教育長報告」です。最初に、1月30日に開催されました「令和元年度九州都市教育長協議会第2回理事会・意見交換会」について、ご報告します。2 ページをご覧ください。1月30日に佐賀市で九州都市教育長協議会の理事会が開催されました。内容については、協議事項が1から7までありますが、まず、令和2年度の会長が佐賀市から佐世保市に変わりました。また、副会長が、宮崎市と鹿児島市になります。これは、九州大会を前年担当した県と、今年担当する県が副会長になるということです。2の第34回定期総会並び研究大会は鹿児島市となりました。3以降は、主に確認をしました。</p> <p>理事会後の意見交換会のテーマについては、①支援が必要な子どもたちに教育委員会はどのように関わるかということで、いろんな議論されました。②「成人式」の在り方や時期についてということで、まだ、決定していないところもありますが、九州管内については、これまでどおり、二十歳を対象にすることを決定したところが多いようでした。③夜間中学については、大分県は市が設置するというのですが、全国的な動きとしては、県が設置するという動きが出ています。不登校だった子どもたちは全県下にいるので、設置するのであれば、県で設置した方が良いという考えのようです。報告は以上です。</p> <p>次に、2月1日(土)に開催されました「経済産業省「未来の教室」キャラバン in 宮崎市」について、ご報告します。3 ページをご覧ください。教育委員の皆さんにもご参加いただいたのですが、約200名程の参加がありまして、全体講演として、GIGA スクール時代の「未来の教室」ということで、経済産業省の柴田室長補佐から話がありました。その後、文部科学省の鶴田専門職が話をされ、ICT関連の企業4社のうち、株式会社COMPASS、株式会社すららネットは個別最適化といって一人一人に合わせた教育をするということです。ライフイズテック株式会社はSTEAM教育を、NTTドコモはICT教育を進めるということで4社から説明がありました。その後、4社のデモ体験会が行われ、各学校の先生方も実際に体験をしていただいて、勉強になったというお話をいただきました。その後、トークセッションは「未来の学びについて」ということで、この4社のトークセッションと会場からの感想ができました。以上が報告になりますが、今回のキャラバンにつきまして、出席された委員に感想をいただきたいと思います。</p>
今門代表教育委員	<p>キャラバンに参加しまして、柴田室長補佐の話を聞いたのですが、教育にもものすごく詳しいと感じました。文部科学省が詳しいのは普通だと思いますが、発表された企業の方々も教育にもものすごく詳しいです。私は、算数のソフトに挑戦しましたが、一問間違える</p>

	<p>と、少し易しい問題に飛ぶようになっていく。また、そこを間違うとさらに1ランク下にいき、また間違えると、下の学年にいくというように教育内容を熟知してソフトを作っている。こういう業界の人も本当に勉強していると感じました。そして教員もプロとして負けないように、開発されたソフトを使って、どのように授業の構成をしていくかをしっかり考えないといけないし、場合によっては、こんな授業をしたいのでこんなソフトをつくって欲しいと、こちらから要望していけるように、教員も成長していかないといけないと思いました。次に、少し古い話になりますが、私は、昭和63年にある小学校に勤務しておりました。その時に、パソコンを使った授業ということで、公開研究をしました。同じように、算数の問題を出したり、図形を使ったシュミレーションなどをパソコンを使って授業を公開しました。あれから30年間経ちましたが、そんなに進歩していないと実感しています。学校にパソコン室があって、週に1回ぐらい使う授業をしているぐらいでは、なかなか進歩しないでしょうが、一人一台のタブレットとなると、一気に変わってくるのではないのでしょうか。先生達も、パソコンに対して、苦手意識とか言っている場合ではなく、どんどん積極的に練習するべきだと思います。4月から教科書が変わります。特に英語とかは、QRコードから、その部分の会話が聞けるようになっていきます。まさに、一人一台のタブレットに対応しているものになっていると思います。教師もこの流れに対応できるように、研修を積んで学んでいかないといけないと感じました。</p>
柳田教育委員	<p>学校の中は、40年前とそんなに変わっていないと思います。ただ、これから一気に変わるのかなという思いもあって、話を聞いていて、学校でプログラミング教育が始まったり、加速的に変わっていくって、私達がついて行けなくなるような教育になっていくのではないかと不安があります。一方で、今回のキャラバンのような企業は、学校の先生達のことを中心に考えて作っているとも感じました。</p>
畠山教育委員	<p>多動の児童生徒への対応方法としても、タブレットを利用するというのは、大変有効だと聞いていました。今回、全国でこういう取組が積極的に行われている中で、宮崎市がいち早く具体的な動きを始めているというのは、子どもたちにとっても有益なことであると思います。また、子どもたちを取り巻く、いろいろと変化する環境の中で一人も取り残されない、寄り添うという教育に繋がるのではないかと思います。もちろん、文化、人と人とのかかわり、それも大切にしなければいけないということとは、今回のキャラバンの中でもあったので、宮崎ならではの教育が発展的に進んでいくのではないかと期待に、胸が膨らんだ思いでした。</p>
西田教育長	<p>学校の先生方も不登校の生徒や特別支援の子どもにまず使いたいというような声もありました。また、状況をお知らせします。</p> <p>次に、「(2) 委員報告」は、こちらに記載のとおりとなっておりますが、1月30日(木)に開催されました「中学生と教育委員会との意見交換会」について、委員の皆様から感想をいただきたいと思っています。</p>
今門代表教育委員	<p>生徒会や部活をやっている生徒が中心ということで、各学校のリーダー的な立場にあり、実にしっかりしていると感じました。大人顔負けの意見を述べる子どももいて、本当に感心しました。会が始</p>

	<p>まる前に、ソファのところで6人の子どもと一緒にいろいろ話をしたところ、少し、緊張しているというので、何を言っても良いといったら、喜んで自由にのびのびと意見していました。</p> <p>最初のテーマが「家族内での会話について」だったのですが、部活や勉強が大変忙しいと思うのですが、少ない時間の中で、家族とよく話をしているというのが印象に残りました。</p> <p>3つ目のテーマが「SNSの使用について」だったのですが、SNSについても、親と取り決めをして使っているという子どもが多くいて、親子の会話がしっかり成り立っていると感じました。父親が単身赴任しているという子どもも、土日に父親と会話をしているということで、親も子どもとしっかりと向き合っていると感じました。当たり前のことを当たり前に親がするということが、しっかりとした子どもに育つのかなと思いました。あと、友達と会話する時間がとても楽しいということを、どの子どもも述べていました。中学生にとっては友達の存在というのは非常に重要なので、良好な人間関係が築けるような指導の充実を今後も続けていかなければいけないと思いました。そういう意味では、学校教育課の「あたたかな人間関係づくりサポート事業」が戦略プロジェクトとして位置づけられていることも、とても良いことだと思います。会の後、子どもたちが楽しそうに打ち解けて会話している姿を見て、名残惜しそうに見えて、良い会だったと嬉しく思いました。</p>
江草教育委員	<p>家庭での会話について、母親との会話が多いという中で、一人だけ、自分が部活で遅く帰って家族と会話することがないという子どもが、SNSとかツイッターとかについていけないから、本を読むという話をしたとき、今門代表教育委員が本を読むことは素晴らしいことだと賞賛していました。また、休みが続いても、やっと明日から学校が始まると思えることは素晴らしいことだと感じましたし、参加した子どもたちは皆そんなふうに言っていました。</p> <p>SNSの使用については、トラブルに巻き込まれているのを身近に見ることがあるというので、SNSの扱いを間違えと怖いということ子どもたちも実感しているようです。あと、生目中学校では『脱スマホゲーム依存宣言』を生徒会で掲げ、寝る前1時間のブルーライトが睡眠の質を下げるということを理由に打ち出しているということで、とても良いことなので、他の学校でも真似したいと言っていました。やはり、生徒会や部活の部長などしている子たちなので、とてもしっかりしていると感じました。</p>
柳田教育委員	<p>学校の中心になっている子どもたちなので、適応能力の高い子たちであると思います。あの子達が一般というわけではないということがまず一点あります。適応能力の低い子、例えば、不登校になっているような子が一般的かということ、それもそうではない。中間はというと何をもって中間かということも難しいわけです。その中で、一人になって、本を読むという子がいました。意見交換会という場では、適応してふるまうことができるような子どもたちだったと思いますが、中2という年齢を考えると、いろんなことを考えていると思うので、今回具体的なことが聞けてよかったと感じました。</p>
畠山教育委員	<p>家庭教育がしっかりとされているというのが、大きな印象でした。やはり、それぞれの家族との会話の時間という質問の中から始まった意見交換でありましたが、忙しい子は忙しいなりに、何か事情がある子はそういった中できちんと大事な時間をつくっていま</p>

	<p>す。そういう自分からつくる、試みる、友達と繋がる時間をつくる、楽しみたい、そういうことを中学生が積極的にやっていることを嬉しく思いました。私達が見習わなければならない、大人が教えてもらわなければいけないような温かい繋がりを感じました。学校のリーダーとして日々過ごしている子どもたちですから、孤独であったり、悩みがあったりいろんなものを抱えている中で、あんな笑顔をみせて、代表として参加してくれたんだと思います。上手くいってない SNS の話とかも出ましたが、彼らが、学校に戻って、それぞれの学校の情報を皆に伝えていくということがこの意見交換会の大きな意義ではないかと思いました。なかなか、他校と触れ合うことは少ないと思うので、こういう機会は大事にしたいと思います。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。次に、「(3) 教育局長報告」ですが、今回は報告はございません。</p> <p>「(4) 各課行事報告」ですが、①企画総務課の「令和元年度第3回宮崎市コミュニティ・スクール推進委員会」、②学校教育課の「令和元年度宮崎市特別支援教育就学相談委員会」、については、後ほど議事の報告として、事務局から説明いたします。</p> <p>これまでの報告に対する質問や、各行事に参加された委員の方でお気づきになった点やこれからの課題、また感想等ありましたら、お願いいたします。</p>
委員	なし。
西田教育長	<p>ないようでしたら、「4 議事」に入らせていただきます。4ページをご覧ください。本日、議案が3件でございます。</p> <p>はじめに、順番が前後いたしますが、資料7ページの議案第4号「宮崎市公民館条例の一部改正の原案について」、説明をお願いします。</p>
宮里地域コミュニティ課長	<p>議案第4号「宮崎市公民館条例の一部改正の原案について」、ご説明をさせていただきます。提案理由でございますが、宮崎市生目公民館の用途を廃止する事に伴い、宮崎市公民館条例の一部改正について、市議会の議決が必要でございます。その原案を提出するものでございます。</p> <p>生目公民館の管理運営、施設運営管理、整備につきましては、宮崎市教育委員会の権限に属する事務の補助執行規程に基づき、地域振興部で事務を行っております。始めに、生目公民館の用途廃止に伴う生目地域複合型施設整備事業についてのご説明をさせていただきます。</p> <p>まず、事業内容でございますが、本市では、「宮崎市公立公民館等整備及び長寿命化計画」に基づき、老朽化した生目公民館の建替えを行うことに合わせて、現在の生目公民館の敷地に、生目地域センター、生目児童館等、周辺の主な公共施設等の機能を集約した複合型施設の整備を行います。本年6月から、解体工事を開始します。そのため、生目中学校区の公民館である生目公民館を、令和2年5月31日をもって閉館いたします。</p> <p>次に、施設の概要でございますが、生目地域複合型施設は、現在の生目公民館の敷地内に鉄筋コンクリート造2階建を予定しております。延べ床面積は1974.88㎡、複合施設の内容としましては、現在の生目公民館と同敷地内にある生目児童館のほか、生目地域センター、生目地区社会福祉協議会、生目・小松台地域包括支援センターとしております。</p> <p>次に事業のスケジュールでございますが、令和2年5月末をもって、まずは公民館解体工事、そして建設工事等に順次着工する予定</p>

	<p>でございます。なお、同敷地内の生目児童館につきましては、工事期間中も安全性を考慮しながら使用し、新施設の供用開始後に現在の建物を解体することとしております。また、生目公民館を利用いただいております団体の皆様につきましては、他の公立公民館でもこれまでと同様に活動が出来るように取扱いをしております。その他、生目の杜運動公園の体育館、生目小学校の体育館などを活用できるように確保を行ったところでございます。</p>
西田教育長	<p>ただいま説明のありました、議案第4号について、ご質問はございませんか。</p> <p>質問がないようでしたら、議案第4号「宮崎市公民館条例の一部改正の原案について」、ご承認いただけますでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	<p>ありがとうございました。議案第4号は承認されました。</p> <p>地域コミュニティ課の皆様、ありがとうございました。</p> <p>次に、資料の5ページにお戻りください。</p> <p>議案第2号「令和2年度一般会計予算案の原案について」及び、議案第3号「令和元年度一般会計補正予算案の原案について」ですが、こちらにつきましても、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	それでは、これより非公開といたします。
西田教育長	それでは、ここで非公開を解除いたします。
西田教育長	<p>次に、報告でございます。13ページをご覧ください。本日、報告が4件でございます。</p> <p>報告第2号「令和元年度第3回宮崎市コミュニティ・スクール推進委員会の報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
川辺企画総務課長	<p>今年度3回目となる宮崎市コミュニティ・スクール推進委員会を、1月31日（金）に開催いたしましたので、ご報告いたします。</p> <p>今年度最後の委員会でしたが、審議事項に記載のとおり、「宮崎市学校運営協議会規則の（最終案）」と「令和2年度モデル校の選定と今後のスケジュール」、について審議を行いました。</p> <p>なお、モデル校につきましては、中学校区で1つの学校運営協議会を設置するモデルと、小学校中学校それぞれ単独で設置するモデル校を設定しております。下の方に四角囲みで、令和2年度モデル校を記載してありますが、中学校区で一つの学校運営協議会を設置するモデルとして大宮中学校区、清武中学校区を、小学校中学校それぞれ単独で設置するモデルとして生目中学校と広瀬北小学校を選定したところでございます。今回の当委員会での主な意見ですが、学校運営協議会規則（最終案）」については、これまでの「学校関係者評価と異なり、学校運営の基本方針等について学校運営協議会の承認を得なければならなくなるので、委員の方にもそこをしっかりと認識してもらう必要がある」、また「地域協議会や地域まちづくり推進委員会との連携・協働については、地域コミュニティ課とも十分協議をしながら進めて欲しい」といった意見をいただきました。</p> <p>また、令和2年度モデル校の選定と今後のスケジュールについては、「モデル校の準備ができたところは、早めに導入した方が良い」、「モデル校以外の学校についても、できるだけ早く導入できるよう</p>

	に進めて欲しい」といった意見をいただきました。今後の予定ですが、この推進委員会は、令和2年度も開催する予定で、令和2年度モデル校の取組状況を報告し、令和3年度からの本格導入に向け、意見をいただきながら、実施に向け、準備を進めていきたいと考えております。説明は以上です。
西田教育長	ただいま説明のありました、報告第2号について、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、報告第3号「令和元年度宮崎市特別支援教育就学相談委員会（答申及びまとめ）の報告について」、事務局から説明をお願いします。
押川学校教育課長	資料の17ページ報告第3号「令和元年度宮崎市特別支援教育就学相談委員会（答申及びまとめ）の報告について」です。 宮崎市特別支援教育就学相談委員会は、幼児及び児童生徒が就学先の選択を行う際、就学相談や保護者や及び学校への支援を行うために設置しているものでございます。本報告は、令和2年度小学校就学予定の児童のうち、就学相談希望者の就学に関しまして、調査と保護者に対する、教育相談をもとに、20人の委員の皆様へに審議を行っていただいた結果につきまして、2月13日に答申がありましたので、報告するものでございます。令和2年度小学校就学予定児童のうち、就学相談をうけた245名中、特別支援学校への就学が適当であるとの判断が37名、特別支援学級での就学が適当であるとの判断が113名、通常の学級での就学が適当であるとの判断が90名、附属小学校への就学や市外への転出が5名でありました。報告は以上です。
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、報告第4号「その他の事案の報告について」、報告第5号「事故等の報告について」でございしますが、こちらについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし。
西田教育長	それでは、これより非公開といたします。
西田教育長	それでは、ここで非公開を解除いたします。
西田教育長	他にないようでしたら、次に、会次第「5 その他」に移らせていただきます。委員の皆様から、情報提供等がありましたら、お願いいたします。
委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、事務局から「善行児童生徒表彰について」、報告をお願いします。
川辺企画総務課長	企画総務課から「善行児童生徒表彰について」説明をさせていただきます。お手元の資料、要綱と黄色の表紙の表彰者一覧に記載してありますとおり、他の模範となる行動を行った小中学生を表彰するものでございます。宮崎市立小中学校の他、宮大附属小中学校、宮崎西高校附属中学校、私立中学校からも推薦をいただいております。表彰選考会で審査を行った後、昨年12月末に結果を各学校にお知らせをしたところでございます。なお、今回は、推薦された全員を表彰決定としたところでございます。

	<p>要綱の資料の2ページに表彰件数を載せてございますが、本年度は、個人103人、5団体35人計138人の表彰を行います。4、5ページに表彰基準ごとの内訳を掲載しております。また、黄色の別冊で、表彰者一覧をまとめておりますので、後ほど、ご覧いただければと思います。表彰式につきましては、各学校で実施することとしておりまして、全校集会などの際に、各学校で表彰を行っていただいております。被表彰者には、表彰状の他、市の方から図書カード、また6ページに載せてございますが、長年にわたり本表彰にご支援いただいております、一般財団法人榎屋恵進会様から、銅製の盾と電子辞書が送られることとなっております。説明は以上でございます。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>なし。</p>
西田教育長	<p>他にないようでしたら、事務局から「宮崎科学技術館の使用料に関する規則の一部改正について」、報告をお願いします。</p>
黒岩生涯学習課長	<p>宮崎科学技術館の使用料に関する規則の一部改正について、ご報告いたします。当日配布資料の宮崎科学技術館の使用料に関する規則の一部改正する規則をご覧ください。新旧対照表です。6月議会において、宮崎科学技術館の条例の一部改正の承認をいただいております。今回は、その条例改正に伴う規則の一部改正となります。改正の主なものは、規則全般に用いられております使用料などを利用料金などに改正すること、もう一つの主なものとして、利用料金の支払いの期日を追加するというものでございます。この規則の施行日は令和2年4月1日でございます。説明は以上です。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>なし。</p>
西田教育長	<p>他にないようでしたら、事務局から「新型コロナウイルス流行への対応について」、説明をお願いします。</p>
中野保健給食課長	<p>新型コロナウイルス感染症への対応についてご報告いたします。新型コロナウイルス感染症に関し、中国から帰国した児童生徒への対応につきましては、文部科学省から通知が出されており、随時新しい情報に更新されております。通知内容については、各学校に通知をしておりますとともに、先日の校長会でも具体的に説明を行ったところでございます。教育委員会といたしましては、各学校に対して、中国から帰国した児童生徒の転入学及び一時体験入学等については、各学校に保護者から連絡、相談があった場合は、学校教育課への報告を、また感染症に関する問い合わせについては、保健給食課へ相談するようお願いをしております。学校と情報を共有しながら、対応を進めております。以上でございます。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>なし。</p>
西田教育長	<p>他にないようでしたら、次に、会次第「6 次回委員会について」、事務局から説明をお願いします。</p>
川辺企画総務課長	<p>次回定例会は、令和2年3月18日（水）、13時40分から教育委員会室において、開催したいと考えております。よろしく願いいたします。</p>
西田教育長	<p>ただ今説明のありました日時で、委員会を開催いたしますので、よろしく願いいたします。</p>

	続きますして、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
川辺企画総務課長	(行事予定説明)
西田教育長	以上をもちまして、第2回定例会を終了させていただきます。